

刊行にあたって 日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長 増田 寛也

はじめに 7

## 序章 逡信・郵政省時代の福祉事業 8

簡易生命保険と国民の福祉 8／加入者福祉の開始と診療所の活動 8／保健衛生の普及促進 9  
加入者ホームの開設 10

## 第1章 簡易保険郵便年金福祉事業団の施設運営 12

簡易保険郵便年金福祉事業団の発足 12／加入者福祉施設のあり方の検討 13  
加入者ホームの建設と拡充 14／保養センターの展開 15／青少年レクセンターの開設 16  
施設規模の拡大 17／加入者ホーム・保養センター利用者へのサービス 18  
診療所と健康診断の充実 18／巡回診療による地域貢献 19／政府の行財政改革と事業団の運営 20

## 第2章 事業団の経営改善と施設の多様化 22

加入者福祉施設拡充長期構想 22／交付金算定基準の改定 23／都市型加入者福祉施設の建設計画 24  
京都会館（かんぼーる京都）の開設 24／東京会館（ゆうぽうと）の開設 25  
保養センターへの新運営方式の導入 27／施設整備内容の変化 28／営業方針の策定 29  
総合サービス体制による効率化 30／経営指標の設定と事務機械化 31／「臨調」と合理化推進 31  
総合健診センターの開設と診療所の統廃合 32／レクセンターとキャンプセンター 34

## 第3章 施設運営の新展開と郵政公社への事業移管 36

簡易保険福祉事業団への改称 36／宣伝活動の展開とシンボルマークの改定 36  
終身利用型加入者ホーム「カーサ・デ・かんぼ浦安」の開設 37  
「かんぼの郷」と「アネックス スポーツランド」の開設 38／健康増進支援と介護支援 40  
ビジュアル・アイデンティティの導入 40／提案制度とCS向上 41／バリアフリー化の推進 42  
災害救護活動 43／阪神・淡路大震災での対応 43／総合健康増進センターの開設 44  
行政改革と公的施設の改革——加入者福祉施設の整理 45／「かんぼの宿ホームページ」の開設 47  
日本郵政公社の発足と簡易保険福祉事業団の解散 47／日本郵政公社の施設運営 47

## 第4章 日本郵政グループの発足と「かんぽの宿」————— 50

- 日本郵政グループの発足 50／オリックス不動産との事業譲渡契約とその解除 50
- 継続保有に向けた経営改善 51／住宅型有料老人ホーム「かぜーる小樽」の開設 52
- 東日本大震災等での対応 53／リニューアルの実施 54
- かんぽの宿公式キャラクター「ゆのぼん」 56／インバウンドへの対応 56
- 宿泊利用拡大に向けた施策 56

## 終章 事業譲渡の決断————— 58

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響 58／「かんぽの宿」等の事業譲渡 58
- かんぽの宿恵那の売却 60
  
- 終わりに 61

## 施設概要————— 63

## 資料————— 93

- かんぽの宿（加入者ホーム・保養センター）、レクリエーション施設開設状況の推移 94
- 利用人数の推移 96

## 年表————— 115

- 主要参考文献 131
- あとがき 133

---

## 凡例

- 1 本書は、簡易保険の加入者向け福祉事業として創設された「かんぼの宿」等の事業を中心に、簡易保険創始期の福祉事業から、事業譲渡等による宿泊事業終了までの変遷を記したものである。
  - 2 2007（平成19）年10月に日本郵政株式会社が設立されるまでの加入者福祉施設の名称は、簡易保険郵便年金／簡易保険加入者ホーム、同保養センター、同レクセンター、同会館、同総合健診センターであったが、適宜「簡易保険郵便年金／簡易保険」を省略した。また、簡易保険郵便年金福祉事業団／簡易保険福祉事業団については適宜「事業団」と表した。
  - 3 「かんぼの宿等」という場合には、「かんぼの宿」（加入者ホームおよび保養センター）のほか「かんぼの郷」（総合レクセンター）および「かんぼレクセンター」、総合健康増進センター（ラフレさいたま）を含む。
  - 4 本編の構成は、序章、第1章～第4章、終章の6章立てとし、概ね序章を簡易生命保険の創業から簡易保険郵便年金福祉事業団が設立されるまで、第1章を事業団設立以降、全国に施設を展開していく1960年代、第2章を施設の多様化および運営の合理化を推進し、宿泊施設の新設が中止される1970年代、第3章を新たな取り組みを進める一方で施設の統廃合を始めた1980年代から日本郵政公社によって運営された2007年9月まで、第4章～終章を日本郵政株式会社が「かんぼの宿」等の運営を担うこととなった2007年10月以降、同事業の終了を決断するまでとした。
  - 5 地名、組織、肩書、役職等は原則として記載時点とした。
-

かんぽの宿  
68年のあゆみ

春夏秋冬...そして春

---